2025 年 3 月 25 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

北海道札幌市における蓄電所事業への参画

―電力需給の安定化や再生可能エネルギーの導入加速に寄与―

スパークス・グループ株式会社（以下、当社）および、当社子会社のスパークス・グリーンエナジー＆テクノロジー株式会社（以下、SGET）は、関西電力株式会社および JA 三井リース株式会社とともに、北海道札幌市において蓄電所事業に参画します。

定格出力 50MW、定格容量 175.5MWh の蓄電所（以下、本蓄電所）を 2 か所で開発（定格出力合計 100MW、定格容量合計 351MWh）し、2028 年 4 月の商用運転開始を目指します。

蓄電所は系統用蓄電池とも呼ばれ、電力系統に直接接続を行うことで、市場を通じて電力の調整力や供給力を提供するものです。世界的にも欧州・米国・中国が牽引する形で系統用蓄電池の導入が拡大しておりますが、我が国においても、今後、天候や時間帯によって大きく発電量が変動する再生可能エネルギーを普及拡大させていくためには、出力の変動を抑制し、電力を安定供給する蓄電所の導入が必要不可欠なものとなります。現状は、需給バランスの調整のため、再生可能エネルギーの出力抑制を行う一方、火力発電所による調整を行うことがメインとなっていますが、蓄電所の導入を拡大することで、再生可能エネルギーの電力を無駄にすることなく最大限活用し、カーボンニュートラルの実現にも資する取り組みとなります。

本蓄電所では、当社の出資に加え、SGET が蓄電所の開発や資金調達、蓄電所事業の運営などの支援を行い、容量市場、卸電力取引市場、需給調整市場を活用した事業運営を目指します。当社としては初の蓄電所事業、且つ当社が注力している北海道エリアでの事業であり、今後同様の蓄電所事業を他エリアにも展開し、事業規模を拡大していく予定です。

本蓄電所は長期脱炭素電源オークションや補助金を活用しない蓄電所事業であり、同様の蓄電所事業では国内最大規模※1となります。また、安心・安全な蓄電所運営に向け、関西電力株式会社の「電池診断・運用支援サービス」（以下、本サービス）を導入します。定格出力 50MW 規模の大型蓄電所への本サービスの導入は国内初※2となります。

当社グループは、引き続き再生可能エネルギーの導入加速に貢献する蓄電所事業を通じて、脱炭素社会の実現と持続可能な豊かな社会の実現に貢献してまいります。

※1：当社調べ

※2：関西電力株式会社調べ

＜蓄電所イメージ＞



■ 本お知らせは、当社グループの事業内容をご理解いただくために、当社グループ会社の事業に関する情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com